

觀世流改訂儒本

別
六

繪馬
視立七面
眼居



明治四十三年七月十日印刷
明治四十三年七月十五日發行

訂正者、檢印
ナキモノハ偽版也



東京市麹町區中六番町二十九番地

訂正兼
發行者

丸

岡

桂

東京市下谷區二長町壹番地

印刷者

塚原錦三郎

東京市下谷區二長町壹番地

印刷所

凸版印刷株式會社

東京市麹町區中六番町廿九番地

發行所

觀古流改訂本刊行會

電話番町二五四番

脇能

繪馬

十一月ツレ

天照大神前老翁

早第

ツヨク

ナラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

治めまはせしむ。伊勢宮
后はあらん。おもくこれ大炊の

帝ははなしたあり。さても我が君

伊勢大神宮を信じて。数れは實

と持ては。其勅を蒙り。作令伊勢

とまはる。風ふなる松本や。

雲雀^{クサビ}宿^スち来る^ク粟津^{アヅ}野^ノの草^{クサ}け^ニ茂^ク
み^ミと^トあ^アけ^ケ越^コえて^テ瀬田^{セタ}に^ニ長橋^{ナガハシ}あ^アち^チ
海^{ウミ}野^ノ端^{ハタ}篠原^{シノハラ}の^ノま^マ枕^{マク}夢^{ユメ}も^モ一夜^{イチヤ}の^ノ
旅^リ寝^ネりな^ナく^ク急^{イサ}ぎ^ギる^ル程^{ハジ}よ^ヨう^ウに^ニい^イふ^フ
や^ヤ勢州^{セイシュ}宿^ス店^{テン}よ^ヨ着^ツき^キて^テい^イふ^フ今^{イマ}夜^ヤの^ノ宿^ス
が^ガあ^アて^テ江^エ所^ソよ^ヨ絵^エ馬^マを^ヲ掛^カく^クら^ラと^ト申^{マウ}ふ^フ
向^{ムカ}ふ^フ今^{イマ}宵^ヨ江^エ所^ソよ^ヨ逗^ト留^{リウ}し^シ絵^エ馬^マを^ヲ掛^カ

くら者を見やとみどい真一新玉の

春は心や若草ふの神も久くき恵めぐみみ

う家二霞も雲もままつ春を去こり

やいもんト甲上年二け三花ニそれ馬ニと華分山サ

の野ニ放バちニ牛ニと桃ト林ニはニ繋ツぐニ事ニ皆ニ

野ニ人のニ浅コトうニなニそれニ皆カニみユ世ニのニ習ニひニ

時ニよりニてニ四ヨ方モのニ海ニのニ真ニ砂ニや

^カ越^テも[。]居^ル千^チ年^{ネン}け^ハあ^リる[。]数^ス々[。]な^ニ入^ル
^シる[。]わ^タり[。]あ^リが^タた[。]や[。]ッ[。]や[。]ま[。]早[。]振[。]神[。]代[。]を[。]
[。]同[。]け[。]バ[。]久[。]堅[。]れ[。]ウ[。]王[。]津[。]日[。]嗣[。]代[。]に[。]
[。]な[。]り[。]て[。]ウ[。]シ[。]ラ[。]人[。]皇[。]末[。]代[。]の[。]子[。]孫[。]ま[。]で[。]あ[。]
[。]リ[。]し[。]恵[。]を[。]受[。]け[。]継[。]ぎ[。]て[。]治[。]ま[。]る[。]は[。]代[。]の[。]
[。]わ[。]れ[。]ら[。]ま[。]で[。]及[。]ぶ[。]ぬ[。]居[。]を[。]伝[。]き[。]つ[。]て[。]他[。]
[。]登[。]は[。]く[。]な[。]ら[。]ウ[。]早[。]付[。]し[。]な[。]ら[。]ウ[。]

人々を導くは心なり。シテ
こなたなり。

まじりて事なり。シテ
今度なり。

又馬を掛くは申の真なり。

シテ
まん即ちなり。シテ
又馬を掛ける。

シテ
それ行は偶に依りて掛ける。

シテ
それ作一切衆生に愚癡を起る。

カクド
像り。馬は毛より平なり。又

雨シゲは平ヒラも心ココロ得エき爲ためなり。さ
てく今イマ使ヤいある絵馬エウマを掛かけ。羽ハネ
平ヒラは相アイ淳ジュンは相アイ愛アイいづれも等ヒト
けども。あつ雨露アツツユの恵メグミを受け。民タタはな

男イサ又またある。よきざれ黒クロの絵馬エウマをかけ。

雨カレ土ツチ豊ユタはあまきあり。智チく耕コ作サク。

の道ミチの直スグある。そよ。お唐エドも怪イナひ。そよ。

けり。まづ射^ウ絵馬を掛け。民を悦ばせ
まじと思ひ^{ツカ}ひ。さきづ^イへ。傳^イふ言^{コト}な
な。使^サは^ラる^トま^ニ。カ^ニも入^ルま^ニ。て^テ。ス^ン
地^チと動^ウ。同^メ。鬼^ヲ神^ニの猛^タま^ニ。和^ヤ
ら^カ。教^{キョウ}へ^イ害^{ガイ}を^モ。て^テ。ア^マ。害^{ガイ}
あ^ハて^テ。ま^ニ。ら^ニ。い^ハ。て^テ。嬌^{キョウ}ひ^ハ。あ^ハ
し^シ。も^モ。争^{ソウ}を^ニ。隙^{ヒマ}行^ユ。駢^コ行^マ。
り。

●クセ 獨吟

あひのひもけ。く。とれ。わ。目。を。時。
遠。身。色。め。紙。の。四。手。つ。け。て。掛。け。あ。へ。
な。駟。く。へ。め。り。て。や。さ。く。間。え。ふ。
松。の。上。に。様。は。尾。上。に。た。の。ま。ち。深。く。
て。あ。び。く。白。雲。又。掛。け。て。色。を。ま。ま。
り。さ。偶。び。通。昭。教。の。さ。ま。い。得。な。れ。も。
減。少。し。例。へ。松。を。畫。け。る。お。女。の。筆。

めぞくも。怒と動を。浅緑糸よりかけ
 て。繫ぐ。駒の二眉掛けてある。娘み
 の。衣袴のそ情。逢ふ夢の手枕
 思ふ。今宵のあらはれて。言採りおさき
 泣上。うき色もむねらひ。手紙に二
 才。まじりと。恨。まぢあつる。信もへいせ
 い。美ひ波の川竹れ。夜も。羽けはらぬ外

とて。寺^ニち^ニえ^ニて^ニま^ニえ^ニ申^ニさん^ニと^ニ使^ニ奉^ニ

ま^ニま^ニり^ニて^ニ失^ニせ^ニは^ニり^ニく^ニ中^ニ上^ニ地^ニ又^ニ萬^ニ

里^ニは^ニ収^ニまり^ニて^ニ月^ニ臺^ニに^ニ羽^ニ神^ニの^ニ序^ニ影^ニの^ニ

尊^ニ容^ニと^ニ照^ニし^ニて^ニ終^ニる^ニれ^ニを^ニ目^ニ奉^ニ

秋^ニ津^ニ島^ニの^ニ大^ニ棟^ニ梁^ニ地^ニ神^ニ五^ニ代^ニの^ニ孫^ニ天^ニ照^ニ

大^ニ神^ニ和^ニ光^ニ利^ニ物^ニの^ニ所^ニ震^ニ登^ニの^ニの^ニの^ニ

水^ニを^ニ蹴^ニ立^ニつ^ニる^ニは^ニの^ニ如^ニき^ニさ^ニれ^ニる^ニも^ニ相^ニ違^ニい^ニ

塵堂は満ちまゐる五色に霞の輝きあ

る。神のほほえみありかな。可なり。

のそとあり。神のまゝ。

四手はあまの神様あらはれ給ふ。

ありかな。昔々の岩はあまの神

りて。思ひや懐かしめなるとて

月二つは数と隠。常闇はせのさ

てゐるまであるやうな歌を歌

いゝまも心も柳を青和幣白

和幣色とさまぐり歌の神楽は韓神

俊馬樂子早振ツク面白やノル面白や

とそええまも岩をわがう所て感カン下

へゝつまで岩戸を手力タカラの尊ミコトひき

用け所衣の袂タビまきうりふも連れ現

いかにては、有様又、新ま、新おびの面
白かりと、福、忘れ、も、高天、原
ふ、神、も、ま、つて、天、地、二、度、開、け、作、ま
り、座、土、も、豊、う、は、月、日、け、光、の、長、閑、ま
春、と、そ、く、け、れ